

8月28日（土）15:00～16:30



トキメキの国のALCE

後藤賢次郎（山梨大学）・佐野香織（長崎国際大学）・瀬尾匡輝（茨城大学）

中川正臣（城西国際大学）・福村真紀子（多文化ひろばあいあい, 茨城大学）・古屋憲章（山梨学院大学）

3つの委員会の各委員がそれぞれどんなことにトキメキ、どんな想いをもって企画をたて、運営をしてきたのか、熱く語ります。この語りをもとに、みなさんに対話、トキメキを展望し、いっしょにトキメキ活動を考えて行きます。活動は考えるだけでなく、実際に実践へとつなげていきます。

交流委員会（福村真紀子・中川正臣）

言語文化教育研究学会・交流委員会では、毎年1回「ヒューマン・ライブラリー」を開催しています。ヒューマン・ライブラリーとは、その名のとおり「人の図書館」です。人が「本」になり、その人の生き方や人生を語ります。参加者である「読者」は「本」を借りることができ、「本」の語りを聴くことができます。私たちはこれまで、「言語教育におけるインクルーシブ教育」「複言語・複文化家族」など、さまざまなテーマでヒューマン・ライブラリーを開催してきましたが、これは、私たちの「トキメキ活動」の一例です。交流委員会では、サークル、分科会の立ち上げをサポートしています。「こんなトキメキ活動をしたい!」と思ったら、交流委員会にご相談ください!一緒に考えて、動いて、トキメキ活動を楽しみましょう!

企画委員会（古屋憲章）

企画委員会は、例会と特別企画を企画し、運営しています。企画委員会で会を催すにあたり、重視していることは、こちら→ <http://alce.jp/monthly/> の「例会のご案内」に書かれていますので、ご参照ください。

【企画委員としての私のトキメキ】

- ・他の委員や話題提供者と協働で一回限りの場を創ることができる。
- ・ひよんなきっかけや思いつきから企画（例会、特別企画）が始まることもある。
- ・最初はあまり関心のなかったテーマでも、打ち合わせや本番でやりとりをしているうちに、だんだん関心を持つようになることがある。
- ・例会でも、特別企画でも、即興的にやりとりが行われる。そのため、実際にやってみなければどのような会になるかわからない（もちろん大まかな流れはあるにせよ）。
- ・ある企画がきっかけになって、別の企画につながったりする。

研究集会（後藤賢次郎・佐野香織・瀬尾匡輝）

研究集会は、「開催 地域で特に話題や議論になっていることをテーマにし、参加者が語り合える場を創出することを目的にしています。また、語り合う場を研究集会の会場に限定せず、一過性ではない継続的な議論を目指します」とされています。そのコンセプトとして、対話を重視した集い、様々なカタチ、があります。こうした研究集会を研究集会委員はどのように研究集会をつくってきたのでしょうか？そしてこれからはどのようにつくっていくのでしょうか。あなたもトキメキ研究集会をいっしょにつくってみませんか。